

平成30年度第4回理事会議事録

1. 日時：平成30年12月15日（土） 13：27～16：58

2. 場所：岸記念体育会館5階 504、505会議室

3. 出席者：

理事：総数27名中 松丸喜一郎会長 藤井優副会長 田村恒彦副会長兼専務理事

岸高清常務理事 褐田登喜造常務理事 溝部政司常務理事 永谷喜一郎常務理事

大野明敏常務理事 鍵山博常務理事

香西俊輔理事 生島賀寿也理事 平井宏治理事 田中敏夫理事 木場良平理事

三木容子理事 佐橋朋木理事 源洋子理事 成山悟史理事 寺澤良悦理事

田中僚一郎理事 高橋信吾理事 田中辰美理事 麻植芳靖理事

以上出席23名

監事：総数2名中 石崎和男 阿部栄一郎 以上出席2名

田村専務が13時27分に理事23名出席で成立するとの宣言をした。

4. 議事録署名人：松丸喜一郎、藤井優、田村恒彦、石崎和男、阿部栄一郎

5. 松丸会長挨拶

冒頭去る11月4日に亡くなられた坂本名誉会長に対し参加者全員が黙祷を行った。

松丸会長が、先日のISSF総会で会長、専務理事の交代があったが、どのように射撃界を変えていくのか議論がある。射撃はIOCの中でクラシック競技と位置付けられており、これは射撃界がもっと手軽に人々ができるスポーツに普及させる必要があるとも考えられるものだと思う。本日も円滑な議事進行にご協力をお願いしたいとあいさつした。

＜審議事項＞

1. 推薦銃競技会参加実績・成績把握について

田村専務より資料17-1について説明があった。溝部常務から報告の対象は推薦銃ではない空氣銃は対象外でよいのかとの確認があり、岸高局長が対象外でよいと答えた。ほかに質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、推薦銃競技会参加実績・成績把握について資料17-1のとおりの方向で実施することを承認した。

2. NRAJ認定コーチ制度見直しについて

永谷委員長より資料12-1について説明があった。松丸会長より国の指導が強められるスポーツ界全体の動向から、この制度によるインテグリティ教育実施が必須となっているとの補足説明があった。さらに成山指導者育成部会長より、前回案にあった大会出場時の選手に対する指導認定コーチの明記については、第10条のとおり選手自身がインテグリティ学習終了済みであれば可とするように変更したとの補足説明があった。

石崎監事からスポーツ庁からは競技団体役員等に対するインテグリティ教育をせよとの動きはないのか、との質問があり、松丸会長から、いまスポーツ庁から出てきている動きは我々役員にはそれはきちんとできている前提であると答えた。溝部常務から10条(2)は大会格付けの改訂後はG2以上とするのかとの質問があり、成山部会長より格付け規程改訂に合わせたいとの回答があった。さらに溝部常務より田村専務理事以下のJOC雇用のコーチについてはインテグリティ教育を受けるよう義務付けられていることを補足するとの発言があった。

田村副会長から第4条、第5条の語句について指摘があり、成山理事が第4条(1)の「満20歳」を「満22歳」に、第5条(2)②の「2018年以前における指導員」を「2018年以前における公認コーチ」に訂正した。さらに成山部会長より平成31年度より旧指導員、上級指導

員、公認コーチ、上級コーチの資格名称が、それぞれコーチ1、2、3、4に変わるとの補足説明があった。三木理事より第10条(2)の2020年4月1日より実施とは、eラーニングのインテグリティ教育開始なのか、大会出場資格明記の適用開始なのかとの質問があり、成山部会長が教育は2019年3月より開始するので大会での適用を2020年4月にすると確認した。

ほかに質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、NRAJ認定コーチ制度見直しについて田村副会長より指摘のあった一部の語句訂正も含め資料12-1のとおり承認した。

3. 緊急報告基準案について

松丸会長よりインテグリティ教育の問題と関連があるということで、別添資料4について趣旨の説明があった。さらに松丸会長より緊急事態の報告、把握については危機管理のマニュアルを策定する必要があると思うが、本格的なものを策定するのは時間がかかるので、このような基準で緊急事態の報告について当面運用していきたい、との方針について承認した。

4. 2019年度NT選手選考基準及び海外派遣要項案について

田村選手強化委員長より資料1について説明があった。特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、2019年度要綱について資料1のとおり承認した。

5. ワールドカップニューデリー大会派遣について

田村選手強化委員長より資料2について説明があった。特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、ワールドカップニューデリー大会派遣案を資料2のとおり承認した。

6. H&Nカップ大会派遣について

田村選手強化委員長より資料3について説明があった。特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、H&Nカップ大会派遣について資料3のとおり承認した。

7. ビームピストル・ライフル国内適用規程(競技時間)の一部改訂について

溝部競技運営委員長より資料4のとおり説明があった。特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、ビームピストル・ライフル国内適用規程(競技時間)の一部改訂について資料4のとおり承認した。

8. 公認審判員の承認について

平井競技運営副委員長より資料5について説明があった。特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、6名の地方公認審判員、6名の本部公認審判員について原案どおり承認した。

9. 平成30年度ジュニア育成アスリート指定基準及び海外要綱変更(案)について

大野ジュニア育成委員長より資料34について説明があった。特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、原案どおり平成30年度要綱変更について承認した。

10. 2019年度育成アスリート指定基準及び海外要綱(案)について

大野ジュニア育成委員長より資料6について説明があった。麻植理事より第4条3対象試合について高校選抜を対象試合に、袴田常務より学生選抜も対象試合に加えるよう意見があり、大野委員長が入れると回答した。ほかに質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、原案の第4条3の対象試合に全国高校選抜大会と全日本学生選抜大会を加える訂正も含めどおり2019年度要綱について承認した。



11. 参事およびジュニア育成委員会委員選任について

大野ジュニア育成委員長より資料7について説明があった。特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、中條公行氏の参事選任について原案どおり承認し、さらに同氏のジュニア育成委員会副委員長選任について報告を受けた。

12. 大会格付の改定方針案と格付規程改訂案について

溝部競技運営委員長より資料15-1について説明があった。岸高常務よりこれまでG3+であったNT選考会や朝霞ピストル大会などの日ラ主催大会はどうするのかとの質問があり、可能なものは溝部委員長がG2とする方向で調整するとの回答があった。さらに資料15-2のP29第4条に「3. 日ラ主催大会はG2とする。」と追記訂正するとの説明があった。ほかに質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、原案に第4条3の追加も含め承認した。

関連事項として石崎監事より未公認射場での競技会実施の防止対策について質問があり、溝部委員長が競技会報告に公認証の写真を添付させるなどの具体的な改善内容を織り込んだ報告要領改訂案を次回理事会にはかったうえ審判講習会で指導すると回答した。

13. 射撃場の公認について

香西認定部会長より資料8について説明があった。とくに質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、中野学園エアライフル射撃場、中野学園エアライフル第二射撃場、千葉県総合スポーツセンター射撃場BR射場内エアライフル射撃場、富山県獣友会南砺市大口径ライフル射撃場の四件の公認について原案どおり承認した。

さらに早稲田大学東伏見エアライフル射撃場の公認返上について報告があった。これについて田村専務理事より競技普及発展をはかる意味から公認返上はいかがなものかとの意見があった。

14. 記録の公認について

源記録部会長より資料9について説明があった。とくに質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、日本新記録について原案どおり承認した。

15. 銃器の公認について

香西認定部会長より資料10について説明があった。とくに質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、ファインベルクバウ2800の公認について原案どおり承認した。

16. 合宿招致国際競技時の銃器等持込対応ガイドラインについて

田村専務より資料11および別添資料1について説明があった。とくに質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、銃器等持込対応ガイドラインについて原案どおり承認した。

17. 2019年度事業計画での日ラ主催競技会新設について

大野ジュニア育成委員長より資料32-1について説明があった。その中でP57の新設したい大会①の大会名について正しくは「第5回全日本小中学生ライフル(A R・A P)射撃競技選手権大会」に訂正された。さらに④の大会名について正しくは「第3回育成ナショナルチーム選考記録会(10m)」に訂正された。さらに、溝部常務より格付け規程の改訂の考え方を反映した方がよいとの意見があり、新設したい大会のNTC拡充棟で開催する①、②、④についてはG2の格付けとするとの訂正があった。以上の訂正も含め議長が諮ったところ全員異議なく、4件の日ラ主催競技会新設について承認した。

<報告事項>

1. 委員会報告

1) 総務委員会

・平成30年度半期決算結果について

田村専務より資料14のとおり報告があった。

・移動時の銃器管理上の注意事項について

田村専務より資料16のとおり報告があった。

・JOCネクストシンボルアスリート制度対応について

岸高事務局長より資料18のとおり報告があった。

・協会での文書等における年号の西暦適用開始について

岸高事務局長より資料19のとおり報告があった。

2) 推薦委員会

・9月10月11月推薦委員会審査結果について

袴田推薦委員長より資料20のとおり報告があった。

3) 国体委員会

理事会の冒頭で福井県ライフル射撃協会の山本会長より福井国体開催での各位の協力に対するお礼のご挨拶があった。

・茨城国体リハーサル報告について

鍵山国体委員長より茨城国体リハーサル大会について無事終了したとの報告があった。

・福井国体報告

鍵山国体委員長より資料21のとおり報告があった。

・茨城国体Kカードについて

鍵山国体委員長より資料22のとおり報告があった。

・茨城国体大会要綱について

鍵山国体委員長より資料23のとおり報告があった。

・鹿児島全日本社会人選手権大会について

鍵山国体委員長より別添資料3のとおり報告があった。

4) 選手強化委員会

・第11回アジアエアガン大会成績報告

田村選手強化委員長より資料24のとおり報告があった。

5) ジュニア育成委員会

・第12期エリートアカデミー生候補JOC選考結果について

田村選手強化委員長より第12期生候補者1名についてJOCの審査で基準を満たさず不合格となったとの報告があった。

・第3回ユースオリンピック大会成績報告

大野ジュニア育成委員長および毛塙監督より資料25のとおり報告があった。

6) 2020東京オリンピック準備運営本部

・オリンピック競技での観戦チケットについて

岸高事務局長より資料26のとおり報告があった。

・東京2020大会NTOおよびSSVの状況について

田村準備運営本部長より口頭で東京2020のNTOの育成、推薦状況およびボランティアの状況について報告があった。また、テストマッチについて324～360人規模のワールドカップで開催する方向で調整が進んでいる。その総費用が2億7千万円程度の見込みの中で日ラの負担は1000万円程度になる見込である。との報告があった。

7) 競技運営委員会

・競技種目略称の改訂について

構部競技運営委員長より資料28のとおり報告があった。

・50m10m競技の予選、本選、ファイナルの設定と記録について

構部競技運営委員長より資料29のとおり報告があった。

・2019年度日ラ事業計画案について

佐橋競技企画部会長より別添資料2のとおり報告があった。その中で6月の西日本大会はG20サミット大阪開催と重なるため1週間早めるよう調整中であるとの補足説明があった。さらに7月の全日本ライフル(ビーム)の開催最終日は15日(日)に、11月冬季ライフル&ピストル大会開催最終日25日の曜日は月曜にそれぞれ訂正された。

8) 普及生涯スポーツ委員会

・ライフルイズビューティフルアニメ化決定について

佐橋競技企画部会長より資料30のとおり報告があった。

9) 國際委員会

・2018年ISSF総会における役員改選結果について

藤井国際委員長よりISSF総会での役員改選結果について口頭で紹介があった。

2. 会務報告

・故坂本名誉会長のお別れの会の見通し

お別れの会は自民党本部と坂本家の共催で福島で開催される見通しとの報告があった。

16時58分に松丸議長が閉会を宣言した。

平成30年12月28日

議事録署名人

議長、代表理事（会長）松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事

藤井 優

藤井 優



代表理事

田村恒彦

田村恒彦



監事

石崎和男

石崎和男



監事

阿部栄一郎

阿部栄一郎



P.3 上から9行目
4字加入

